

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第2区分

【発行日】平成18年8月10日(2006.8.10)

【公表番号】特表2002-518354(P2002-518354A)

【公表日】平成14年6月25日(2002.6.25)

【出願番号】特願2000-554568(P2000-554568)

【国際特許分類】

C 07 K 14/705 (2006.01)

C 07 K 5/00 (2006.01)

C 07 K 7/00 (2006.01)

【F I】

C 07 K 14/705 Z N A

C 07 K 5/00

C 07 K 7/00

【手続補正書】

【提出日】平成18年6月14日(2006.6.14)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

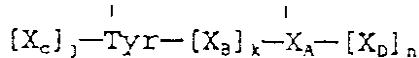
【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】式：

【化1】



(式中：

T y r はチロシン残基であり；

SO_3^- はチロシン残基に結合した硫酸基であり；

X_a はN-またはO-結合アミノ酸残基であり；

R は X_a にO-またはN-結合しているシアル酸付加、フコース付加したN-アセチルラクトースアミノグリカンであり；

X_b 、 X_c および X_d はアミノ酸残基であり；ならびに

j、k および n はおのおの0から12であり、ここで各々のアミノ酸配列 $[\text{X}_b]_j$ 、 $[\text{X}_c]_k$ または $[\text{X}_d]_n$ は0から12個のアミノ酸を有し、ただしこの化合物はアミノ酸38個以下の化合物、

を有する化合物。

【請求項2】 X_c が1または2個の硫酸チロシン残基を有してなる請求項1に記載の化合物。

【請求項3】 $j = 0$ から 10 、 $k = 0$ から 5 および $n = 0$ から 10 である請求項1に記載の化合物。

【請求項4】R を R_1 から R_{15} からなる群から選択する請求項1に記載の化合物。

【請求項5】 $j = 0$ 、 $k = 0$ から 5 および $n = 0$ である請求項1に記載の化合物。

【請求項6】 X_b がプロリンを含んでなる請求項1に記載の化合物。

【請求項 7】 X_c がチロシンを含んでなる請求項 1 に記載の化合物。

【請求項 8】 図 10 の A から N の 1 個を含んでなる請求項 1 に記載の化合物。

【請求項 9】 少なくとも 1 個のさらにシアル酸付加、フコース付加したアミノ酸残基に結合した O - グリカンを含んでなる請求項 1 に記載の化合物。

【請求項 10】 X_A が O - 結合アミノ酸である請求項 1 に記載の化合物。

【請求項 11】 O - 結合アミノ酸残基がセリンまたはスレオニンである請求項 10 に記載の化合物。

【請求項 12】 X_A が N - 結合アミノ酸である請求項 1 に記載の化合物。

【請求項 13】 R が G A 1 N A c に対する 1 , 6 結合を含んでなる請求項 1 に記載の化合物。

【請求項 14】 R がコア - 2 をベースとしている請求項 1 に記載の化合物。